

2014年10月発行  
編集・発行:南魚沼市役所 総務部 秘書広報室  
〒949-6696 新潟県南魚沼市六日町180番地1  
電話:025-773-6658  
ファックス:025-772-3055  
ホームページ:http://www.city.minamiuonuma.niigata.jp  
印刷:三条印刷株式会社



10年の歩み～未来に向けて

自然・人・産業の和で築く安心のまち

# みなみうおぬま



**市章** 「南魚沼市」をイメージし、市を代表する南魚沼産コシヒカリ、そして魚野川の清流と豊かな自然のもとで、自然・人・産業の連鎖と融和により発展する南魚沼市を表しています。青は、清らかな流れと澄みぎった空、はてしない未知の世界を意味し、赤は、夢や希望とそれの実現に向けたエネルギーを表しています。

市の花「カタクリ」 市の木「コブシ」(タムシバ)



# この地に生まれ、生涯住み続けたいと思うまちづくりをめざして

今年、市制施行10周年の節目の年であります。この南魚沼の地は、豊かな自然に恵まれ、季節が移るごとに山々などは美しい姿を見せてくれるものの、豪雪などの厳しい一面も時には現れます。近年においても、記憶に新しい平成23年7月に発生した新潟・福島豪雨では、自然災害のすさまじさを私たちに思い知らせました。忘れることのできない大災害でありましたが、私たちにはそれを乗り越える力があります。それは「人」の力です。一人ひとりでは、大災害に立ち向かうことは難しくても、知恵や技術、復興を願う心を合わせることで、大きな力を生みます。あれだけの大災害でありながら、今、こうして復旧・復興できたことは、市民の皆さまが心を一つにし、ご協力いただいたおかげであります。この場をお借りし、改めてお礼を申し上げます。さて、日本は、アベノミクスによってデフレから

の脱却や本格的な経済回復に取り組んでおり、明るい兆しも見え始めていますが、人口減少問題や超高齢化社会など、この南魚沼でも避けることができない問題も多く抱えています。今からそのことを見据えて、子どもから高齢者の誰もが、「この南魚沼に生まれよかつた。これからもずっと住み続けたい」と思うまちづくりを、この市制施行10周年を節目に職員と一丸となり、より一層進めてまいり、所存であります。市制施行10周年記念事業も終盤に差し掛かりましたが、最後まで皆さまとともに盛り上げ、次の10年・20年先の輝ける「南魚沼市」を築くために、さらなるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

希望ある「南魚沼市」の発展のために、新たな歩みを皆さまとともに始める10周年の節目を迎えられたことに感謝を申し上げます、結びたいいたします。



南魚沼市長 井口 一郎

## Aiming to build city where citizens were born and want to live for their long life.

This year is a milestone for the city, 10th anniversary of its union as a city. Minamiuonuma city has abundant nature and mountains changing each season but sometimes show rigorous weather by deep snow. The intense deluges at 2011 July at Niigata and Hukusima is known for its terrible disaster. We never forget it and have a power to overcome it. That is all of each Minamiuonuma citizen. It is very difficult to face such disaster by one. But those power will be born big one by each power joining together. We were able to rebound from such a major disaster because all of the townspeople joined together in heart and worked together. On this occasion, we would like to express our sincere gratitude. Currently, efforts to break free from deflation and achieve economic recovery through Abenomics have resulted in a more positive outlook, but there are still many unavoidable challenges faced by Minamiuonuma, including a shrinking population and super-aging society. In consideration of these issues, we intended to continue town development with our staff at this milestone as a municipality, so that everyone, from little children to the elderly, would think "I'm so glad to have been born in Minamiuonuma, and want to stay here." The memorial project for the 10th year as a municipality has reached the final phase. We ask for your continued support and cooperation to develop a wonderful Minamiuonuma City for the next 10 years, the next 20 years. I would like to close by expressing my gratitude for this opportunity to share this 10th year milestone and to further work with everyone in the development of a bright Minamiuonuma City.

Ichiro Iguchi Minamiuonuma City Mayor

# Contents

市制施行10周年  
南魚沼市勢要覧2014  
10年の歩み～未来に向けて

- 4 未来のために、  
南魚沼市の今を見つめる
- 6 すすむ特色ある地域づくり  
～地域づくり協議会～
- 8 ユネスコ無形文化遺産「越後上布」
- 10 南魚沼の歴史
- 12 女性ならではの感性で南魚沼市の魅力を磨く  
～女子力観光プロモーションチーム～
- 13 次の世代につなげていくために  
オリンピック銅メダリスト～小野塚 彩那さん～
- 14 中越大震災、新潟・福島豪雨
- 16 大原運動公園
- 18 南魚沼市図書館
- 20 消防
- 22 地域医療体制の整備
- 24 総合計画の概要と将来像  
(未来に歩むまちづくり)
- 26 保健・医療・福祉 ～福祉のまちを推進～
- 28 保健・医療・福祉 ～子育て支援～
- 30 教育・文化  
～学校教育、子ども・若者育成支援、生涯学習、文化振興、生涯スポーツ～
- 32 教育・文化 ～総合支援学校～
- 34 環境共生 ～豊かな自然を引き継いでいく～
- 36 都市基盤 ～都市基盤整備で郷土を特徴づける～
- 38 産業振興 ～交流人口の拡大・産業の創出～
- 40 産業振興 ～南魚沼からの食の発信～  
南魚沼きりざいDE愛隊・南魚沼市コシヒカリの日
- 42 行財政改革・市民参画  
～市民と築くあかるい自治のまち～
- 44 合併後の主な出来事

## 南魚沼市民憲章

- わたしたち南魚沼市民は、**人間**を大切にします
- わたしたち南魚沼市民は、**自然**を大切にします
- わたしたち南魚沼市民は、**ものづくり**を大切にします



先人たちが守り続けた「人間・自然・ものづくり」を大切にし、市の基礎づくりを進めてきました。

未来に向け、子どもたちが希望を持ち、いつまでも住みつづけた「南魚沼市」を築くために、皆さんとともに歩み続けます。

時代新たに拓くまち  
ふるさと南魚沼は  
笑顔の花が咲き誇る  
日ごと楽しく人の輪に  
風情をそそる灯がともる  
出湯の里に雪国の  
四季の彩り映えるまち

若鮎はねて 澁刺と  
魚野の流れ 瀬もはずむ  
育つ稲の穂 コシヒカリ  
実りも豊か 幸まねく  
ふるさとの南魚沼は  
四季の彩り映えるまち

希望溢れて 伸びるまち  
ふるさとの南魚沼は  
八海山も雲ひかる  
照る陽明るく 降りそそぎ  
みどりの大地 目を覚ます  
越後路渡る 朝風

南魚沼市歌  
「時代新たに」  
作詞 長橋 正宣 補作詞 いではく  
作曲 遠藤 実 編曲 山口 順一郎

# 未来のために、 南魚沼市の今を見つめる

南魚沼市には、豊かな自然や多彩な文化・伝統など、先人から受け継いだ貴重な財産とともに、まちを支える多様な人材、地域特性を生かしたさまざまな産業があります。

南魚沼市の可能性を高め、将来にわたって自立したまちをつくるためには、行政だけでなく、市民一人ひとりが南魚沼市の将来のために、自覚と責任を持って行動することが大切です。

市民と行政が、ともに知恵を出し合いながら協働し、誰もが安心していきいきと暮らせる南魚沼市をめざしていきます。

## Looking at the Present Minamiuonuma in Behalf of the Future

Minamiuonuma City has abundant nature, rich culture and tradition, valuable assets inherited from our ancestors, diverse human resources to support the city, and various industries which take advantage of the regional characteristics. To increase possibilities in Minamiuonuma City, and to develop an independent town, it is important that each resident acts with awareness and responsibility. Through cooperation between residents and administration, (and an exchange of knowledge,) we seek to develop Minamiuonuma City as a place where everyone can live actively and in comfort.

### —ユリ科の多年草で、まだ雪の残る野山に、

春の訪れを告げるように咲く紅紫色の花、それは—

そう、南魚沼市の花「カタクリ」です。  
控えめながらも花びらを後ろにそらせて力強く咲くその姿は、未来に向かって歩み続ける南魚沼市のイメージにふさわしく、市民にもなじみの深い花です。

### —カタクリの花言葉を知っていますか？—

花言葉は「初恋」「寂しさに耐える」です。  
カタクリは種子から花が咲くまで7〜8年かかるといわれています。やっと花を咲かせても開花期間は1週間ほどです。  
うつむき加減に咲きながらも可憐なその姿は、どこことなく初恋を連想させます。カタクリは花が散ると再び次の春まで土中で休眠します。  
1年のうち、開花期以外の多くの時間を寂しさに耐えながら過ごし、そしてまた力を蓄えて、生命力に満ちあふれた花を咲かせます。

### —雪国に春を告げる花、カタクリ—

じつと我慢して花を咲かせる姿は、どこか私たち南魚沼人に似ています。  
南魚沼市にはカタクリの群生地がたくさんあって、春の風物詩にもなっています。  
厳しい冬を耐え抜いたカタクリの花が、残雪の野山にたくさん咲いている様子は、これからの南魚沼市の希望にあふれた明るい未来に重ね合わされます。

### —南魚沼市が誕生してから10年が経過しました—

これまでの市民一人ひとりの努力が、今の南魚沼市をつくってきました。  
これからも、なにか大切なのかを確認しながら、一步一步確実に歩みを進め、可憐でありながら生命力を感じさせるカタクリの花のように、誰もが住み続けたい希望に満ちた南魚沼市を築いていきましょ。



# すすむ特色ある 地域づくり



地域資源の維持(簡易水道の補修)

**主役は地域の皆さん！**  
**自分たちのまちは自分たちでつくる**  
**地域を自分たちの力で元気に**  
**地域が人を育て、**  
**その人が地域をつくる**

地域づくり協議会の  
 取り組み

地域で本当に必要な取り組みを自分たちで決めて実行するためには、地域で情報を共有し、話し合い、協力しながら進めていくことが重要です。

市内に、合併前の旧3町を構成していた旧町村の12地区に、地域づくり協議会が設置され、それぞれに特色ある取り組みが行われています。この取り組みがこれからの地域を支え、未来をつくっていく力となります。

そんな特色ある地域づくりの取り組みを紹介します。

## Efforts by the Regional Development Councils

Moving forward in a spirit of cooperation, sharing information and holding discussions are important in order for us to determine and implement the approach required for the region. Regional Development Councils in 12 districts have been established for each town and village which used to make up 3 towns before merging, and each council carries out its own characteristic.. These efforts are to support the region from now and generate the power to create the future.



環境保全(登山道の補修)



地域活性イベント(ふれあい祭)



交流ふれあい活動(縄ない)



共同作業(U字溝設置)



花いっぱい運動



地域活性イベント(ジョギング大会)

## 地域づくり協議会の沿革

- 平成19年度  
モデル3地区で実施(大崎・大巻・塩沢)
- 平成20年度  
12地区で実施
- 平成21年度  
地域活動の拠点施設「地区センター」を設置
- 平成23年度  
交付金の地域間調整を導入
- 平成25年度  
山の暮らし再生機構(LIMO)復興支援員による活動、連携の支援体制を導入

## こんな事業をしています

- かつては川普請(かわぶしん)、道普請(みちぶしん)として、自分たちの生活用水や道路を守ってきました。今も地域に残る生活に必要な用水路や道路を地域で協力し、維持しています。
- 地域で出されたアイデアから実施されるさまざまな行事・事業を支援し、地域の活性化を図っています。



伝統行事の継承(賽の神)

### 組織の紹介・地域のめざす姿

- 「浦佐地域づくり協議会」  
●次の千年のまちづくり
- 「藪神地区地域づくり協議会」  
●地域の活性化と親しみのあるまちづくり
- 「大崎地区地域づくり協議会」  
●地域の活性化と明るいまちづくり
- 「東地区地域づくり協議会」  
●住民同士の交流を通じ、地域の活性化と日常生活の向上をめざした地域づくり
- 「六日町地区地域づくり協議会」  
●自然と共存し、安全で住みやすいまちづくり
- 「五十沢地域づくり協議会」  
●地域が明るく、安全、安心なまちづくり
- 「城内地区地域づくり協議会」  
●安全で住みよいまちづくり
- 「大巻地区環境づくり協議会」  
●地域の安心、安全、人にやさしい環境づくり
- 「塩沢地区まちづくり協議会」  
●地区民が安心、安全に地域で過ごせるまちづくり
- 「上田ふるさと協議会」  
●地域の人々が、自然と調和しながら、安心して暮らせるまちづくり
- 「中之島地区まちづくり協議会」  
●次の子どもたちのために、100年後も住み続けたいまちづくり
- 「石打地区まちづくり協議会」  
●人と人との交流をはぐくみ、先人の足跡を継承して未来につなぎ、皆が参加できるまちづくり



雪中に糸となし、雪中に織り、  
雪水に洒ぎ、雪上に晒す。  
雪ありて縮あり、されば越後縮は  
雪と人と気力相半ばして名産の名あり、  
魚沼郡の雪は縮の親といふべし。  
(鈴木牧之「北越雪譜」)

## ユネスコ無形文化遺産

### 越後上布

越後上布は、越後縮(ちぢみ)とも呼ばれ、苧麻(ちよま)という植物の繊維を原料としています。通気性に富み、軽く、さらりとした感触で蒸し暑い日本の夏に最適な織物です。

原料となる苧麻(ちよま)は乾燥に弱く、上布を作製するには常に多くの湿気が必要となります。大量の雪に覆われ、農作業のできない冬の手仕事として、この南魚沼の地は越後上布の製造に

#### UNESCO Intangible Cultural Heritage Echigo-jofu (textile)

Echigo-jofu textile is made from the pith of the "Choma" plant (ramie). Choma breathes well and has a smooth texture, therefore it is well-suited for humid summer in Japan. Echigo-jofu textile is carried out during the winter when people cannot farm in the deep snow in Minamiuonuma. The textile is said to be born in the snow and raised with people in snow country and its culture. It was designated as an important intangible cultural property in 1955, and registered on the Representative List of Intangible Cultural Heritages by UNESCO in 2009; it is recognized its technology by the world.

多くの工程を経て完成する越後上布。その中でも重要無形文化財の指定要件は次のとおりです。

- すべて苧麻(ちよま)を手績(てう)みした糸を使用すること
- 緋(かすり)模様をつける場合は、手くびりによること
- いざり機で織ること
- しぼとりをする場合は、湯もみ、足ぶみによること
- さらしは、雪ざらしによること

適していました。雪の中から生まれ、雪国の人々と、その文化とともに育った織物といえます。  
昭和30年に国の重要無形文化財に指定され、さらに平成21年には、ユネスコ無形文化遺産代表一覧にも登録となり、世界がその技術を認めています。



苧績み

水に浸して柔らかくした青苧(あおぞ)を爪で細くさいて、その糸先をより合わせてつないで、均一の太さにしていく作業です。



緋くびり

図案を基に作られた木羽定規か紙テープを用い、墨(印)付けをし、くびり糸で固く巻いて染織します。くびられた部分が白く残り緋(かすり)ができます。



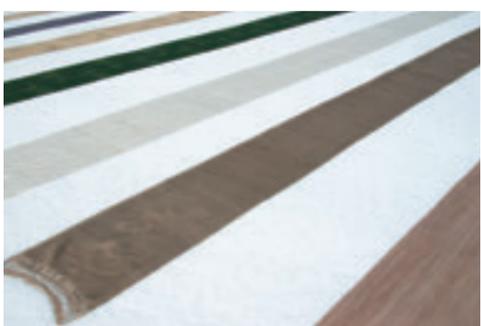
いざり機(地機)

いざり機(地機)は原始的な織機で、織り子は機とつながった腰当てを腰にまわして、腰を後ろにひいたり、前かがみになったりし、織り込んでいきます。  
いざり機は織る位置が地面に近く、その分湿度を多く吸収できるため、麻織りに適しています。



湯もみ・足踏み

糊や汚れを落としながら布を柔らかくし、布目を詰まらせるための作業です。



雪ざらし

2月から3月ころ、天候のよい日に上布を雪上に広げてさらします。太陽熱で雪が解け、水分が布目を通って蒸発するときにオゾンが発生することで、布を白くします。天然の漂白作用であるこの雪ざらしは、この地に春を告げる風物詩となっています。

着物に仕立てられ、人の手に渡った上布が、再びこの地に戻ってくる必要があります。長年着用し、染みついた汚れを、雪ざらしできれいにするためです。これを昔の人は、愛情をこめ「越後上布の里帰り」と呼びました。

# 南魚沼の歴史

南魚沼の地は、古来より越後と関東圏などを結ぶ交通の要所として、重要な位置を占めています。また、外部からの要素を取り入れつつも、豪雪地帯として独自の文化をはぐくんできました。

縄文時代までは、台地や丘陵部を中心として、人々の生活が営まれたことが、火炎型土器を代表とする縄文土器や石器などからわかっています。時代が下ると低地への定住が進みます。古墳時代には、飯綱山古墳群など、県内でも有数の古墳が多くつくられた地域となりました。その麓では大きな集落の痕跡が見つかり、この地域に大きな力を持った人物の存在がうかがえます。

中世に入り、上杉氏が越後守護になると、家臣の長尾氏が坂戸城や樺沢城などを中心に、この地を治めました。戦国末期には、上杉謙信の跡目争い(御館の乱)に勝利して跡を継いだ上杉景勝や、その家臣の直江兼続といった武将

を輩出しました。

江戸時代には、三国街道の宿場町として栄え、長岡へ下る船の発着場として川運も発展しました。その拠点の一つ、浦佐の普光寺では、毘沙門堂で裸押合大祭が行われていました。裸押合大祭は、現代も多くの人でにぎわっています。

産業として、越後縮(越後上布)の生産が盛んになり、江戸時代の天明から文化期には20万反も生産されたといわれています。その縮の仲買を行っていた塩沢の鈴木牧之(すずきぼくし)は「北越雪譜(ほくえつせふ)」を著し、雪国の実情を江戸の人々に広く知らしめました。

## History of Minamiuonuma

Since ancient times, Minamiuonuma has been an important transportation point connecting the Echigo and Kanto regions. Minamiuonuma adopted elements from outside and created its own original culture as a heavy snow area. Until the Jomon Period, people had lived near the plateau and hills. During the Kofun Period, persons of great authority lived in the region, as can be seen by the Iizunayama tumuli. During Medieval Japan, after the Uesugi clan became custodians of Echigo, the Nagao clan which is the vassal of the Uesugi clan ruled Minamiuonuma area around Sakado (castles) and Kabanosawa castles. In the Edo Period, Minamiuonuma prospered as a post town on the Mikuni Kaido, and ship transportation was developed as landing point on the way down to Nagaoka. Production of Echigo Chijimi (Echigo-jofu) expanded and it is said that 200,000 pieces were produced. Suzuki Bokushi, a chijimi merchant, wrote "Hokuetsu Seppu," which widely advertised the actual conditions of the snow country to people living in Edo.



## 坂戸城跡(国指定史跡)・坂戸城絵図(市指定文化財)

越後守護 上杉家の家臣である上田長尾氏の居城。関東と越後府中(上越)を結ぶ交通の要所、国の守りとして重要な位置を占めていました。上杉景勝が会津へ転封し、その後、堀直寄が城主となるも慶長15年(1610年)に転封し、坂戸城は廃城となりました。鈴木牧之は文化14年(1817年)坂戸城跡に登り、その様子を絵図に残しています。



## 飯綱山古墳群(県指定史跡)

10号墳は大塚とも呼ばれ、飯綱山古墳群の中で最大の古墳。明治時代に発掘され、県内では珍しい副葬品が出土しています。



三国街道栃原峠(市指定文化財) 江戸時代初期に開削された五箇から堀之内へ抜ける峠です。頂上付近には茶屋の跡が残っています。それまで三国街道は、川を渡り小出方面を迂回していました。



原遺跡出土火焔型土器 原遺跡は、姥島新田にある縄文時代の遺跡です。縄文時代中期になると火焔型土器が盛行し、さまざまな文様の土器がつけられています。



北越雪譜初版本(市指定文化財) 雪国越後の民俗、習慣、伝説、産業などを書き記した牧之の代表作です。発案から出版まで40年近くかかり、天保8年(1837年)に出版されました。



毘沙門堂楼門(市指定文化財) 日光東照宮をモデルに、天保2年(1831年)建立されたといわれています。階下の天井には、谷文晁(たにぶんちやう)により「八方にらみの龍」が描かれています。

# 女性ならではの感性で南魚沼市の魅力を磨く

## 女子力観光プロモーションチーム

### これまでの活動紹介

女性の目線から観光を考え、市に提言しようと発足したのが、私たちのグループ。近年、「女子会」「歴女」「理系女子」そして「女子力」など、女子を強調した言葉がメディアで取り上げられ、多方面にわたり、女性が活躍・活動しています。

### おもてなしのトイレ

道の駅南魚沼「雪あかり」が2012年の7月にオープンしましたが、私たちはトイレのあり方を提言しました。私たちが考えたのは「おもてなしのトイレ」です。設計が進んでいたこともあり、提言のすべては反映されませんでした。が、「お母さんといっしょ」と名付けた多目的室の設置や、男性トイレにもおむつ替え台を取り入れてもらいました。多目的室は、メンバーの子育て経験から、遊具もある道の駅に

「授乳やおむつ替えだけでなく、子どもの足を汚さずに着替えさせることができます」を実現したものです。女性目線で旅先のトイレがこんなだったらいいなを考

え、男性も育児をするこの時代にあつたトイレにしたかったので。利用者が「ありがたい」と思う気持ちを持って旅路につけるように、おもてなしの心を込めました。

### 南魚沼市の魅力発信

「ここは、なんにもねえとこだがんに」という声を聞くことがあります。とんでもありません！南魚沼には「あたたかな人情」「豊かな自然」「魅力ある人・場所・物・食」があふれています。歴史が深く、雪国ならではの優れた文化は、私たちが誇れる宝物です。それらを女性目線で掘り起し、市内外の人や次の世代に伝えたいとの思いから、自分たちで取材や体験をして、「目で見て、肌で感じた感動や、舌で感じたおいしさを」ウェブサイトで「人・自然・文化・歴史・物・食・美」をテーマに、発信しています。

インの一環で、南魚沼の食材の魅力を詰めた「南魚沼極上弁当」をプロデュースしました。その他に、大手化粧品メーカーのモニターを通じた南魚沼のPR活動や、国際大学ウェブサイトへの情報・写真提供なども行いました。

県内外から講演やアドバイザリー依頼などをいただいたことがきっかけで、九州に同じ思いを持った女性チームが誕生しました。「地域の魅力を発信し、元気にしたい」という私たちの思いが広がりを見せています。

「異業種で働く女性がチームを組んで、男性にない細かな気づきや情報発信力を、南魚沼の観光に生かせたら」と、そんな思いを持ったメンバーが集まり、女子力観光プロモーションチームは2010年11月に誕生しました。

「冬の長靴のレンタル」に続き、越後上布や塩沢紬などの素晴らしい織物文化を伝承させるための活動にも取り組んでいきたいと計画しています。

### その他のいろいろな活動

私たちの活動を知ってください。私たちからオファーをいただき、コラボ商品や企画も生まれています。JR東日本とのコラボでは、2014年4月から6月に実施された新潟ステイネーションキャンペーン



女子力観光プロモーションチームのメンバー

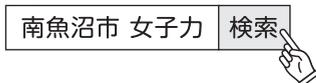


多目的室「お母さんといっしょ」



長靴のレンタル

女子力ウェブサイトは



Refining the charms of Minamiuonuma, seen through the woman's eyes

Tourism Promotion Team by the Power of Women

That team was established to improve tourism from a woman's point of view in November 2010.

# 次の世代につなげていくために

## 〜決してあきらめない心〜

—小野塚彩那さん、ソチオリンピックでは、市民に大きな感動と喜びを与えていただき、ありがとうございました。

この競技を始めてから、3年目での快挙であることを聞くとさらに驚きでいっぱいです。ハーフパイプに挑まれたきっかけを教えてください。

**小野塚 彩那さん** この競技がオリンピックの正式種目に決定した時にアルペン競技から転向し、ハーフパイプでオリンピックに出場すると心に決めました。家族や周りの人に宣言し、素人同然のところから始めました。最初は、教えてくれるコーチもなく、海外への遠征費用もすべて自費でしたが、どんな時も「絶対にあきらめない」と心に誓い、がむしゃらにパイプと練習に励みました。サポートクラブができてからは、充実した練習ができるようになり、結果として、オリンピックやワールド

ソチオリンピック フリースタイルスキー  
女子ハーフパイプ 銅メダリスト **小野塚 彩那さん**



ドカップでメダルもとれ、応援していただいたすべての皆さんを含め、本当に感謝しています。

—すでに次のオリンピックに向けて活動されているのですか。

**小野塚 彩那さん** 次のオリ

ンピックのことは、まだ全く考えていません。4年後のオリンピックよりも今年のワールドカップやX・GAMES、2年に一度開催される世界選手権に集中した

と思います。

それとともに子どもたちにつなげていくことが大切だと思っています。スノーボードに比べ、フリースタイルスキー人口は、日本ではまだ少ないのが現実です。そして、欧米に比べ、練習

パイプだけでなく、空中での感覚を養うために、室内のトランポリン施設も必要です。

—小野塚さんのオリンピックでの活躍を見て、ハーフパイプをやりたい子どもが増えたと聞いています。子どもたちに向けたメッセージをお願いします。

**小野塚 彩那さん** スポーツだけでなく、すべての夢は、最後まであきらめなければ必ずかないます。家族や周りの人を巻き込みながら、壁にぶつかっても決してあきらめずがんばってください。

私もアスリートとして、もっと上をめざし、がんばりますので、これからも応援をお願いします！



**Connecting to the next generation**  
~The spirit of never giving up~  
Winter Olympic Games in Sochi in 2014  
Freestyle skiing women's halfpipe, bronze medalist  
Miss. Ayano Onozuka

# 中越大震災 新潟・福島豪雨

## 中越大震災

平成16年10月23日午後5時56分、旧川口町を震源地とした最大震度7の地震が発生し、その後も大きな余震が続き、中越地域を中心に甚大な被害をもたらしました。

南魚沼市でも、最大震度5強を記録し、大規模な停電や水道の断水、林道の崩落など、大きな被害がありました。



林道浅沢線の崩落状況(四十日地区)



登川の破堤状況(大里地区)

中越大震災や新潟・福島豪雨など、大規模な自然災害は、ラインを切断し、農地や山腹の崩壊、河川の氾濫などを引き起こし、市内に未曾有の被害を生させました。

被災規模が大きく、件数も多かったために、復旧工事には数年を要しました。

市では、国・県とともに、さらに災害に強いまちづくりをめざし、十二沢川改修工事などを進めています。

### Niigata Chuetsu Earthquake / Niigata, Fukushima torrential rains

Terrible natural disaster, such as the Niigata Chuetsu earthquake and the Niigata/Fukushima torrential rain broke the lifeline of the residents, farmland and mountain landslide, river flooding and unparalleled damage to the city. The scale of these disasters was large and much damage was reported, therefore recovery construction has taken several years. The city, together with the government and prefecture aims for disaster resistant city development and is advancing on renovation construction.

## 新潟・福島豪雨

平成23年7月27日から30日にかけて、新潟県と福島県にかけて、猛烈な豪雨が襲いました。

南魚沼市でも累計降水量563mm、1時間あたり最大降水量89.5mmを観測しました(気象庁塩沢観測所)。これにより道路、河川、農地、山林、水道施設をはじめ、一般家屋への浸水や公共施設など、広範囲にわたり大規模な被害が発生しました。



国道17号付近の浸水状況(本庁舎付近)

## 中越大震災からの復旧



被災時



復旧後



中越大震災によって、四十日地区では山の法面が崩壊し、土砂が市道西枯木又線と一級河川四十日川を埋め、対岸のほ場にまで流れ込みました。測量や応急復旧工事をしているところは、まだ余震が続き、危険と隣り合わせの作業でした。2年続きの豪雪の影響もあり、復旧には時間を要しましたが、今では市道を安全に通行することができます。

市道西枯木又線 法面の復旧状況(四十日地区)

## 新潟・福島豪雨からの復旧



被災時



復旧後



吉里の外谷地区では、大規模な山腹崩壊により、約5ヘクタールの農地に土砂が厚さ1メートル以上堆積しました。土とともに杉の巨木が田や道路の上に乱積みとなり、田の原形をとどめませんでした。市では、原形復旧が不可能であると判断し、周辺の未被災農地を含めた災害関連ほ場整備による復旧を行いました。

水田の復旧状況(吉里 外谷地区)

豪雨によって、水源である三国川ダムに大量の土砂が流れ込み、取水する水が濁ったため、畔地浄水場の浄水処理能力が著しく低下し、大規模な断水が発生しました。

この教訓を生かし、現在、市内各所に緊急水源の整備を図るとともに、圧送式給水車を配備し、非常時にも安定して給水できるよう対策を進めています。



緊急給水活動訓練

# 大原運動公園

屋外スポーツの拠点となる  
総合運動公園



## 野球場

「青少年の夢をはぐくみ、実現する聖地」とすべく、平成26年5月25日に、硬式野球ができる公認野球場がオープンしました。

こけら落としとして、ルートインBCリーグ「新潟アルビレックスBC対群馬ダイヤモンドペガサス」の試合が行われました。約2,400人の観客が訪れ、その熱戦によって、大いに盛り上がりました。

レベルの高い野球の試合をこの野球場で身近に見て、感じることで、プロなどで活躍する一流選手が多く誕生することが期待されています。

### 施設概要

- 両翼100m、センター122m
- グラウンド面／内野：クレー、外野：人工芝
- 観客席／内野：3,000席（イス席：1,000席、芝生席：2,000席）

### 設備

- スコアボード（バックスクリーン一体型）
- ナイター照明
- 防球ネット
- 管理、運営設備

## テニスコート

テニスコートは県内でも有数の規模を誇っています。夏期には、合宿などで利用する人で、コートはいっぱいになります。

平成21年のトキめき新潟国体、平成24年のがやき総体（インターハイ）の硬式テニスの会場にもなり、熱い戦いが繰り広げられました。

## 多目的グラウンド

サッカーを主体としながら、さまざまなスポーツで利用できるグラウンドです。

外周は、ランニングコースとしても利用できます。



多目的グラウンドの改修状況

### 施設概要

#### サッカー

- 一般コート／105m×80m 1面
- 少年（8人制）コート／68m×50m 2面（11人制80m×50m 2面）
- ※グラウンド面／人工芝

#### 野球

- 少年野球両翼70m、センター85m 2面（片面のみ一般野球の内野形状を確保）
- ※グラウンド面／内野：クレー、人工芝、外野：人工芝

#### 設備

- ナイター照明 ● 防球ネット



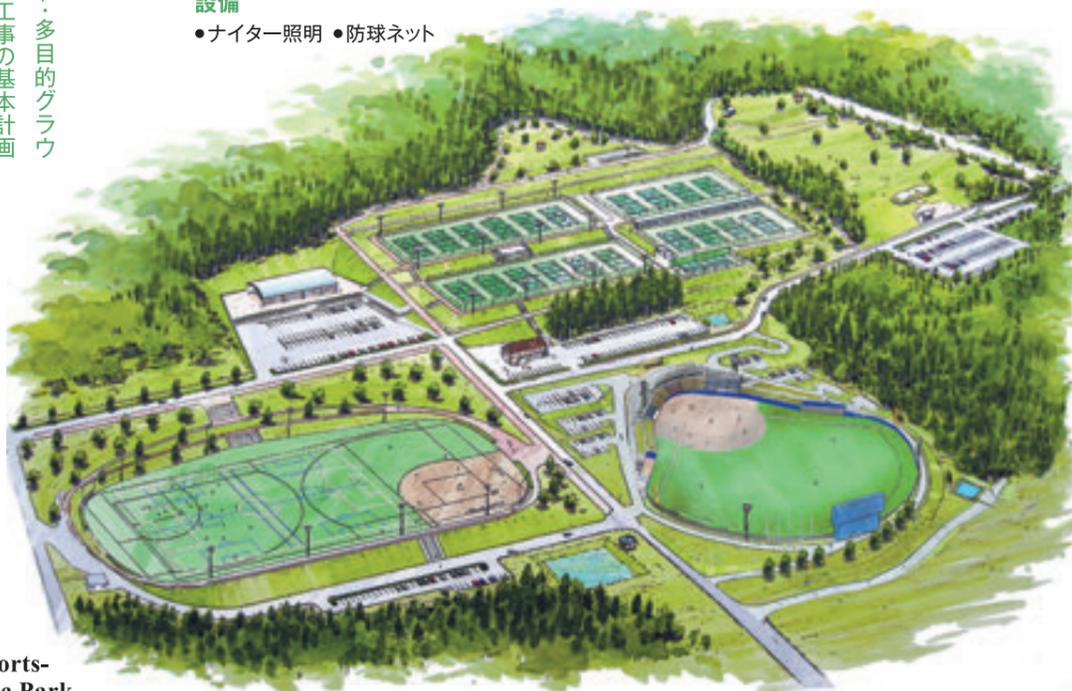
### 施設概要

- コート20面（砂入り人工芝）
- ナイター照明（12面分）
- 屋根付き休憩席（スタンド兼用）



野球場・テニスコート・多目的グラウンドだけではなく、2期工事の基本計画では、屋根付きグラウンドや親子で遊べる芝生広場などを整備する計画となっています。

多目的な総合運動施設として、さまざまなニーズに応えられる公園整備を進めていきます。



## The hub of outdoor sports- Ohara General Athletic Park

Not only a baseball park, tennis court, multi-purpose playground, development of a playground with roof and an open space with grass for familychildren and parent are planned in the second term of the Basic Plan. Development of the park as a multi-purpose general athletic park, in response to the various needs of the residents, will be continued.

# 南魚沼市図書館

## えきまえ図書館本の杜<sup>もり</sup>



- 南魚沼市図書館**  
 (愛称：えきまえ図書館 本の杜<sup>もり</sup>)  
 南魚沼市六日町101番地8
- 施設概要**
- 面積／約2,500㎡
  - 蔵書数(図書)／108,000冊  
開架：86,000冊、閉架：22,000冊
  - 視聴覚資料／806点  
DVD：609点、CD：197点
  - 閲覧席／123席(うち学習用36席)
  - 各種機器  
図書検索端末：3台  
公開パソコン：3台  
視聴覚用DVD：3台
  - 展示コーナー(各種展示)
  - 情報コーナー
  - 飲食可能エリア
  - 付属設備  
授乳室：1室(ベビーベッド完備)  
多目的トイレ：1室
  - 付属施設  
多目的室：定員73人 約100㎡  
録音室：定員2人  
ボランティア室：定員8人
  - 開館時間  
月～金 9：30～20：00  
土・日・祝日 9：30～19：00
  - 休館日  
図書整理日：毎月第3木曜日  
年末年始(12/29～1/3)  
蔵書点検期間：毎年2月を予定

### Minamiuonuma City Library

Promoting reading activities to children, we highly regard an interest of children such as knowing. We support intellectual curiosity as a hub of lifelong learning. We assist visitors in their search for a book to read and information of interest as a center of knowledge and information. A place of comfortable reading is provided.

活字のシャワーを浴びる

森林浴をするようにくつろぎ

### 育てる 子どもたちの読書活動推進

子どもたちの「知りたい」を大切にします

図書館にはたくさんの本があり、その中に答えがかくれています。本との出会いは、自発性や想像力豊かな子どもを育て、人生の土台をつくっている子どもにとって大切な一面です。感受性の豊かな子どもたちに読んだ本は、その後の人生に大きな影響を与えます。

### 学ぶ 生涯学習の拠点

知的好奇心を応援します

図書館は知りたいという気持ちを養い、知的な欲求を満たす生涯学習の拠点となります。スポーツ・音楽・文学・科学など、さまざまな分野から興味をひかれるものを見つけ、それを調べることで、知識に幅や深みが生まれます。その興味を追求することで、満足感や達成感を得ることができます。それが人生を豊かにし、生活の質を高めることにもつながります。

### 知る 知識・情報の拠点

読みたい本や求める情報を探すお手伝い

読みたい本や知りたい情報、調べるために必要な資料を探すお手伝いを、専門資格をもったスタッフがを行います。蔵書のない資料は、リクエストによる購入や他図書館からの貸出制度で用意し、利用者のニーズに細やかに応えます。自由に使用できる公開パソコンや蔵書検索端末、スマートフォンなどで利用できる無線LAN(Wi-Fi)環境を整備し、インターネットなどを利用した調べ学習をサポートします。

### 憩う くつろぎの読書空間

心やすらぐくつろぎ空間

県内産越後杉で作られたやわらかなデザインの家具や、高さを抑えた書棚を配置し、木のぬくもりを感じられる開放的な空間が広がっています。さまざまな種類の本が並ぶ書棚から本を手に取り、ソファに座ってみてください。リビングや書斎にいるかのようにくつろいで読書することができます。また、館内には飲食が可能なエリアも設けています。



# 消防

安全・安心を守る防災活動  
 災害などから市民を守り、  
 安心して暮らせる  
 まちづくりを推進します

近年、災害や事故が複雑化・大規模化の傾向を強めています。地震や集中豪雨、土砂崩れなど、全国各地で住民の安全を脅かす自然災害が毎年のように頻発しています。

災害などから市民の生命や財産を守るという消防の責務は、ますます大きなものとなってきています。平成26年4月に再編が完了した南魚沼市消防団や地域と連携し、市民の安全を守るとともに、安心して暮らせるまちづくりを推進します。



平成24年7月に消防新庁舎が完成



平成26年3月に新訓練塔が完成



救急・救助体制の充実強化



南魚沼市消防団 秋季連合消防演習 車両部による一斉放水

## 南魚沼市の消防に女性が進出

南魚沼市消防団に女性部が新たに誕生しました。防火広報活動や応急手当講習などで幅広い活躍と、女性ならではの視点を生かし、消防団の活性化に貢献するものと期待されています。

南魚沼市消防本部でも女性消防職員を採用し、きめ細やかなサービスの提供に努めています。



平成26年4月に誕生し、今後の活躍が期待される消防団女性部

女性の活躍に期待！



予防指導に笑顔で対応する、長坂仁美消防副士長



一人前の消防士になるため訓練に励む、高橋夏子消防士

### Fire Prevention Activities

Activities to keep safety and security — we protect residents from disasters, etc., and create an environment where people can live in peace. Women have entered into fire-fighting and prevention activities- The Women's Department has been established at the Minamiuonuma City Volunteer Fire Corps. That activity of the fire company by the point of women's view will be expected in future.

# 地域医療体制の整備



南魚沼市民病院

## 医療再編

魚沼医療圏は、県内で最も面積が広く、人口当たりの医師数は低位にありました。そのため救命救急・高度医療については、中越医療圏など、他の地域に依存せざるを得ない状況にありました。このような状況を解決するために、救命救急・高度医療を担う魚沼基幹病院の開院を中心とする魚沼圏域の医療再編が計画されました。

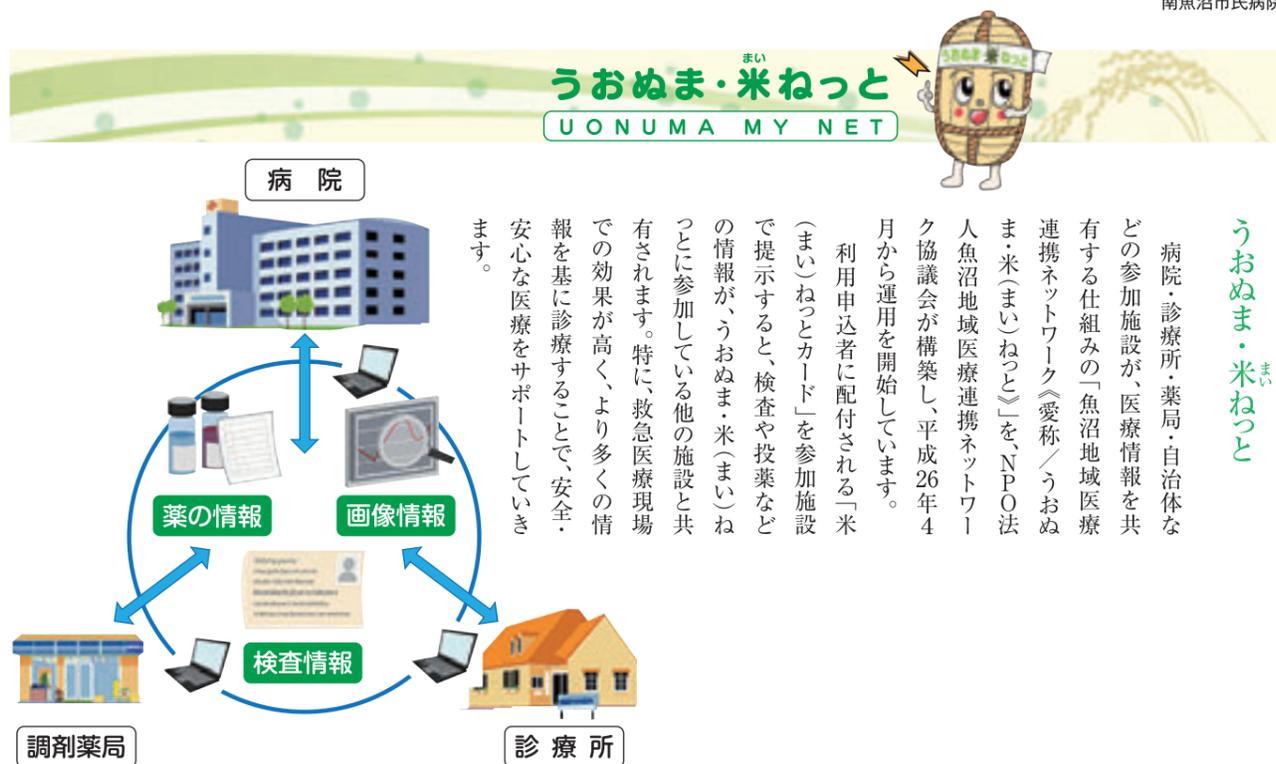
南魚沼市民病院は、これまで市立病院が担ってきた地域医療に加え、魚沼基幹病院の後方支援病院としての機能も担います。医療再編に伴う機能分担と「うおぬま・米(まい)ねっと」による情報共有により、魚沼圏域での地域完結型の医療体制を構築し、地域全体の医療水準の向上を推進します。



新潟大学歯学総合病院魚沼地域医療教育センター  
新潟県地域医療推進機構魚沼基幹病院  
(略称：新潟大学地域医療教育センター・魚沼基幹病院)

## Regional Medical System Provision

The Uonuma medical area is the largest in Niigata prefecture and has a low physician per population ratio. As a result, critical and intensive medical care have to depend on the assistance of other regions up to now. To improve this situation, restructuring of the medical care in the Uonuma district was planned, focusing on the opening of the Uonuma Kikan Hospital which can handle critical and intensive medical care. Minamiuonuma City General Hospital handling regional medical care as the city-run hospital, it will also provide logistical support to Uonuma Kikan Hospital. Function sharing through the restructuring of medical care, and information by the "Uonuma/My Net," a regional medical system has been constructed to improve this medical care system for this area.



南魚沼市が市制を施行してから10年が経過しました。  
 その間、総合計画に掲げた南魚沼市の将来像  
 「自然・人・産業の和で築く安心のまち」の実現に向けて、  
 着実なまちづくりを進めてきました。

南魚沼市総合計画では4つの基本理念により、  
 まちづくりの枠組みを6分野の政策大綱に整理しています。  
 6分野の政策大綱では、それぞれに「まちづくりの目標」を定め、  
 相互に連携しながら具体的な取組みを進めています。

## 4つの基本理念



1. 郷土を愛し、一人ひとりがつくるまち
2. 人の輪で支えあう安心のまち
3. 南魚沼を活かす力強い産業が育つまち
4. 効率的で活力に満ちた行政システムをもつまち

## 6分野の政策大綱



- 政策大綱 1 第1章 保健・医療・福祉**  
 まちづくりの目標 地域ぐるみでつくる健康・支えあう福祉のまち
- 政策大綱 2 第2章 教育・文化**  
 まちづくりの目標 学ぶ喜び・文化をはぐくむ喜びのあるまち
- 政策大綱 3 第3章 環境共生**  
 まちづくりの目標 豊かな自然とともに生き、100年後の子どもたちに引き継いでいくまち
- 政策大綱 4 第4章 都市基盤**  
 まちづくりの目標 安全・快適でうるおいのある生活ができるまち
- 政策大綱 5 第5章 産業振興**  
 まちづくりの目標 豊かな自然を活かし、自然や人にやさしく力強い産業のまち
- 政策大綱 6 第6章 行財政改革・市民参画**  
 まちづくりの目標 市民と築くあかるい自治のまち



将来像・基本理念と政策大綱のイメージ

**A safe town based on harmony with nature, people and industry**  
 Ten years has passed its merge as a city. During that time, we have continued to carry out steady city development in order to realize our future image of Minamiuonuma City as "a safe town based on harmony with nature, people and industry," which was promoted in the general planning.



# 保健・医療・福祉 地域ぐるみでつくる健康・支えあう福祉のまち

## みんなでふれ愛助け合って 福祉のまちを推進

障がいのある人が住みやすいまちづくり

障がいのある人が住み慣れた地域で安心して生活できる環境整備や、自立した生活を送れるように支援をし、すべての人から人権を尊重され、社会活動にも積極的に参加できる社会をめざします。

## 住み慣れた家、地域でいつまでも元気に!!

子どもから高齢者まで住み続けたいまちづくり

子どもから高齢者まで、すべての市民が世代を超えて交流し、地域での絆を深めながら住民同士が支えあう社会を推進します。

### 障がい者優先調達推進法

障がい者の就労事業所に、市では文書発送関係の業務を委託しています。その他に、総合支援学校の清掃業務や保育園の草取り作業、廃棄物の仕分作業などの委託も行っていきます。



### 南魚沼市自立支援協議会

自立支援協議会を中心に、障がい福祉サービスのニーズの把握や関係機関との連携を図っています。



### 敬老会

長寿を祝い、私たちの先輩として長年ご尽力いただいたことに感謝の気持ちを含めて開催しています。子どもたちの発表に笑顔があふれ、元気を呼び寄せます。



### 高齢者福祉の推進

歳を重ねても、いつまでも元気に安心して暮らし続けられるように、緊急通報装置設置や寝具洗濯・乾燥・消毒サービスなどを実施しています。

### 民生委員・児童委員

高齢者世帯や児童の見守り、福祉に関する相談に応じ、行政などの関係機関につなぎます。民生委員・児童委員は、地域福祉の推進役です。



## 生涯を通じて、誰もが健やかでいきいきくららせる地域をめざして

実り豊かな生涯を過ごすために、市民一人ひとりが「私たちの健康は、私たちの手でつくる」という意識をもつことが必要です。

## 生活習慣病予防のために市民が毎年健診を受け、その結果を自らの生活習慣の改善に生かす支援の充実を図ります。

### 住民健診

生活習慣病の予防や、がんの早期発見のために、集団健診を行っています。受診率向上をめざし、市民が健診結果を生活改善に生かせるように、保健指導を行っています。



### 健康推進員・食生活改善推進員

南魚沼市のさまざまな健康課題を予防の視点から学び、食育・減塩・認知症心のサポートなどの知識を深め、健康づくりを地域に広める活動をしています。



### 筋力づくり教室

高齢者の体力・筋力を維持・向上させ、寝たきりや認知症の予防のために、約100か所の集会所などで開催しています。「レインボー健康体操」を実践する指導サポートも養成しています。



### 乳幼児健診

乳幼児の月齢に応じた発育と発達面の健診と、幼児への歯科健診を行っています。医師の診察のほかに、育児や食事の栄養など、育児相談にも応じます。離乳食教室も実施しています。

## 乳幼児の成長に合わせた健診や育児相談などを行い、成長を見守っていきます。

子どもから若い世代につなぐ架け橋

### マタニティサロン

赤ちゃんを抱っこする練習や、夫の妊婦体験などができます。妊娠中の不安・悩みの解消や、仲間づくりができる場です。



Health / Medical / Welfare

### City of health and welfare supported by region

We aim to build a city which is easy to living for persons with disabilities. We aim to carry out city development that encourages people from children to elderly to want to keep living in the city.

We aim to develop a region where everyone can actively live their lives.

We ensure proper growth through health checkups and childcare consultations according to the age of the child.



## 南魚沼流 子育て支援

### 一歩先をめざして

『すべての子どもと家庭への支援』を基本理念に、次代を担う子どもたちの成長を全力で支援します。

保育園や学童クラブ施設の整備を図り、多様化する市民のニーズに合わせた、きめ細かな保育サービスを充実させ、働きながら子どもを安心して産み・育てられる環境整備を進めます。

子育て世帯の経済的な負担を軽減するために、子ども・妊産婦の医療費助成や、ひとり親家庭の自立支援に向けたさまざまな取り組みを行っています。

家庭、地域そして市の宝である子どもたちが、心身ともに健やかに成長できる環境づくりをめざします。

南魚沼市は、受診機会が多いといわれている0歳から4歳児の子ども医療費の無料化を市で独自に行っています。

#### Health / Medical / Welfare City of health and welfare supported by region Minamiuonuma's Own Way of Child Care Support

With our basic policy "Support for every child and family" we support the growth of children who will carry the next generation. For example, we seek to provide kindergartens and pupil club facilities, as well as enhance detailed childcare services which are adjusted to the diversified needs of the residents. This includes the product of an environment that parents can bear and raise children while working. We provide medical financial assistance for children and expectant mothers to reduce the economic burden of families with children. We also carry out various approaches to support single parent families.

### 社会福祉法人 若葉会 金城保育園・金城幼稚園

平成20年4月、保育園・幼稚園に児童館を含めた「一体型施設の運営を行う」「認定子ども園」の認定を、新潟県で初めて受けました。一人ひとりが長い人生を生きる勇氣・知恵・やさしさを持てるような体験をすることが教育理念です。



## 選べる 保育最前線

### 多様化する ニーズにあわせて

南魚沼市では公立保育園の耐震化や整備、統合を進めながら、新たに認定こども園への支援も行っています。認定こども園は、幼稚園と保育園のよいところを生かしながら、両方の機能を併せ持ち、就学前の教育と保育ニーズに対応する新しいかたちです。子どもたちの個性を大切に、それぞれの家庭に合わせた保育環境整備を進めます。

#### Front line of available child care

Minamiuonuma City newly provides the support to newly "Certified Kodomo-en" also. Certified Kodomo-en is a new style of childcare that offers the advantages and functions of both kindergarten and preschool, and provides pre-elementary school education while handling childcare needs. Holding values of individual of each child, we promote a childcare environment which adjusts to the needs of each family.

### 浦佐認定こども園

「保育の真ん中に子どもを」を保育・教育理念に、平成23年4月に開園しました。豊かな感動体験を通し、意欲・思いやり・自主性をはぐくみます。子どもが子どもらしくできる時間を過ごせるよう「子ども主体の保育」を展開しています。これからの南魚沼市を、日本を、世界を担い、リードしていく子をめざします。

### 学校法人 里咲学園 むいかまちこども園

平成25年4月、六日町幼稚園に六日町保育園を併設し、認定こども園が誕生しました。「やさしく」「きびしく」「あたたかく」を教育方針に、乳幼児の心のサポートを大切にしながら、一人ひとりの成長しようとする可能性をぐんぐん引き出す保育やカリキュラムに取り組んでいます。



# 教育・文化 学ぶ喜び・文化をはぐくむ喜びのあるまち

## 学校教育

### 特色ある学校づくり

各小中学校では、学校の伝統や校風、地域の資源や人材を生かした活動を行っています。



トミオカホワイト美術館のジュニア学芸員活動(城内中学校)

### 特認校

〔栃窪小学校・後山小学校〕

通学区域に関係なく、市内全域から修学を認めている学校です。両校では、少人数を生かした特色ある教育を行っています。



後山小学校



栃窪小学校

## 子ども・若者育成支援

「すべての子ども・若者のあふれる笑顔」をめざします。

子どもから若者まで途切れのない支援を推進するために、平成23年4月に子ども・若者育成支援センターを開設しました。

勤労青少年ホームを拠点に、市内の関係



心豊かな子育て教室

団体と協力し合い、年代に合わせたさまざまな取組みを行っています。  
0〜3歳の子どもとその家族を対象にした「心豊かな子育て教室」、義務教育期の教育相談(来所相談・学校連携訪問相談など)や、各中学校への心の教室相談員派遣、義務教育終了後から39歳までの若者へのニート・ひきこもり支援(相談、居場所活動、就労前支援、家庭教育支援、青少年健全育成事業など、多くのボランティアの協力を得ながら活動しています。  
学校・家庭・地域・行政が連携協力する市民総がかりによる教育をめざしています。



若者居場所活動(散歩、安心して自分をだせる活動の一環)

## 生涯学習

市民が自主的に学び、行動できるように、青少年向け事業や高齢者教育事業など、各世代に応じた学習の機会や情報の提供を行っています。その事業活動を成果とともに、活力ある地域づくりに生かしていきます。

また、郷土の特色を生かした事業を企画推進するとともに、自発的な学習サークル活動を支援できる環境づくりに努めています。

### 公民館

身近な学習の場や地域活動の拠点として、誰もが気軽に参加できる公民館活動をめざしています。

各地域の公民館と分館の活動を単位に、活力ある地域づくりを推進しています。



高齢者教育事業(しゃくなげ学級発表会)

## 文化振興

### 文化財

文化財などの保存整備・活用と、伝統芸能が将来にわたり、保存・伝承されるように、関係団体と連携して支援しています。

### 芸術・文化

芸術鑑賞の機会を提供し、芸術・文化活動の場として文化施設が市民に広く活用されるように努めます。

### 郷土史

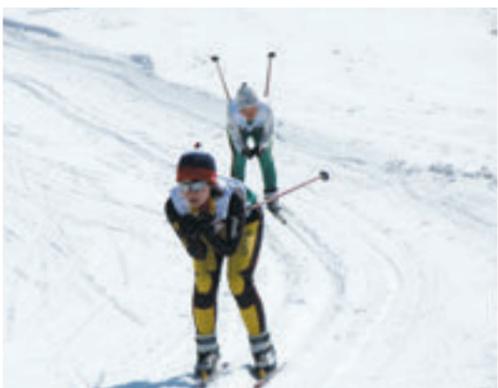
郷土史編さんを通じて、郷土への関心を高め、理解を深めるとともに、収集した資料の活用と保存を図ります。



南魚沼美術展覧会

## 生涯スポーツ

市民の誰もが、いつでも、どこでも、気軽にスポーツを楽しめ、次代を担う子どもたちが夢と希望を抱けるような環境整備を進め、スポーツを通じ、生涯にわたって心身ともに豊かな生活の実現をめざします。



ノルウェー大使杯



ナイトウォーク



市民登山

### Education / Culture

#### The city with the joy of learning and nurturing a culture

Along with the providing an environment for "school education," "Support in child/youth development," "lifelong learning," "culture promotion," and "lifelong sports," we seek to enhance education and culture through support activities.



## 地域の中で学び育ち、 地域に笑顔をお届ける 子どもたちの学校

### 南魚沼市立 総合支援学校

魚沼サンティックススクールの一部を転用し、平成25年4月に新設した学校です。小学部から高等部まで、障がいのある子どもたちなどが、この学校で元気に学んでいます。

子どもたちが楽しく学び、成長していくためには、学校だけでなく、地域やさまざまな関係機関などが総合的に、子どもと家族を支えていくことが必要です。そんな思いから「総合支援学校」と名付けました。

以前は、魚沼市にある学校まで毎日通学する必要がありました。南魚沼で生まれた子どもを、この地で育てられることは、とても幸せなことです。この学校で育った子どもたちが、卒業後、地域に笑顔をお届けられる人になってほしいと願いを込め、教育活動を行っています。

- ◆児童生徒数 68人(小17人、中18人、高33人)
  - ◆職員数 44人
- ※平成26年4月1日現在

Education / Culture

The city with the joy of learning and nurturing a culture

Minamiuonuma City General Support School

This new school opened April 2013, and part of Uonuma Santic School was transferred to the new school. From elementary to high school students study with disabilities actively. As well as a school, it is necessary that various relative agency including region support a child and a family generally that children learn happily and grow up. With this intention, the school has been named "General Support School."



やってみよう



恋するフォーチュンクッキー  
[You Tube(ユーチューブ)で動画を発信]

**個の特性に応じた指導**  
総合支援学校では、子ども一人ひとりに合った教科書や教材、授業内容で勉強をしています。また、自分の考えを伝えることが難しい子は、ICT機器を活用することで意思疎通などを行う方法を学んでいます。

**まち全体をキャンパスに！**  
この言葉を合言葉に、校外での活動を積極的にを行っています。電車やバスを利用し、近くの施設に出かけたり、市役所で申請手続きの体験や地域にある田んぼで稲作体験、国際大學生と一緒に行う体育祭など、地域の人々などとの交流を大切にしています。

**地域のセンター機能**

総合支援学校は、通常の学校としての役割のほかに、高い専門性を生かした南魚沼地域の小・中学校の特別支援教育を支援する役割を持っています。幼児や児童生徒、保護者への相談・支援のほかに、各施設の教員へのサポート活動も行っています。

**教育目標**

ここからからだだから  
笑顔あふれる子どもたち



学ぶ



市内すべてがキャンパス



地域交流



稲刈り



ふれあい



チャレンジ

# 環境共生

豊かな自然とともに生き、

100年後の子どもたちに引き継いでいくまち

美しい南魚沼の自然景観を守り、生活環境の向上を進めるとともに、循環型省エネルギー社会の実現をめざします。

太陽光・熱や雪氷熱のエネルギー利用を進め、清らかな水や山林など、この地域が持つ豊かな資源を生かし、環境と調和した社会の実現と新産業育成をめざします。

## 母なる清流魚野川と ふるさと魚沼盆地

南魚沼産コシヒカリ、八色スイカなど、魚沼盆地がはぐくむ農産物は、昼夜の寒暖差と清らかな雪解け水がそのおいしさをつくりだしています。豊かな水資源を生かした食品関連産業やスキー場、温泉施設なども多く、観光などの産業面でもこの地の特色が生かされています。

大地を覆う雪の美しい冬、すべての生き物が待ち望む新緑が芽吹く春、盆地ならではの暑さの夏、そして多くの食物が実る秋。

私たちは、四季折々に豊かな表情を見せてくれるこの地の自然を大切に、すべての生き物と人、自然との調和がとれた環境を、次代に引き継いでいかなければなりません。

## 魚沼盆地を囲む山々は 清流のふるさと



**巻機山**  
山頂の池塘(ちとう)、高山植物など、魅力あふれる美しい山容が登山者の心を捉えます。日本百名山にも選ばれています。



**八海山**  
山頂の八ツ峰は断崖絶壁で、古来より山岳信仰の霊場として崇められきました。4合目までは、ロープウエーで手軽に登ることができます。



## 緑あふれる憩いの公園



親子で水遊びができる  
登川河川公園



新たな桜の名所となった  
銭淵公園



越後三山を望む雄大な  
八色の森公園

## 豊かな自然を 引き継いでいく

## 魚野川と支流の河川は水辺のオアシス



親子水環境ふれあい教室  
川とのふれあいは、清流と川にすむ生き物を愛する心をはぐくみます。



初夏の風物詩魚野川のアユ釣り  
アユ釣りの解禁日には、大勢の釣りファンが訪れます。

## 環境との共生



棚田  
先人から守り継がれた美しい棚田を次世代につなげます。



夏の定番「八色スイカ」  
甘く、シャキシャキとした歯ごたえが人気の秘密です。



雪活用の取組み「雪室」  
日本酒の熟成などに活用されています。



自然エネルギーを推進  
太陽光発電システム設置に対し、補助金を交付しています。

*Coexistence with the Environment*  
**A city that lives in harmony with abundant nature and handed over to the children 100 years later**

By protecting the beautiful natural scenery of Minamiuonuma while improving the living environment of the residents, we seek to realize a recycling, energy saving society. Efforts utilizing the rich resources of this region through the use of solar/thermal energy, and snow and ice cold energy are in place as we seek to develop a society in harmony with the environment while nurturing new industries. We have to hold values of the nature of this land, enjoying its bountiful expressions each season, and hand over this environment that harmonizes each living creature, person, and nature, to the next generation.

# 都市基盤

安全・快適でうるおいのある生活ができるまち



三国街道 塩沢宿「牧之通り」

## 三国街道塩沢宿「牧之通り」ほくし

地元住民で組織された「牧之通り組合」が主体となり、雪国の歴史と文化を継承するというまちづくりコンセプトの下、官民一体で作りに上げたまちなみです。

まちなみ形成協定によって統一された美しく、どこか懐かしいこのまちなみを見たいと、毎日多くの観光客が訪れています。

通りでは、地元の女性を中心に組織された「射干（しゃが）の会」がおもてなしの心で迎えてくれます。

### ●受賞歴

- 平成21年 まちづくり月間まちづくり功労者
- 平成23年 手づくり郷土賞（一般部門）
- 平成23年 全国街路事業コンクール「優秀賞」
- 平成23年 都市景観大賞「都市空間部門」大賞

整備前の牧之通り

## 都市基盤の整備により 新しい郷土を特徴づける

ふるさと

市民生活や地域経済の向上・充実に、快適な生活環境づくりが求められます。そのために、道路整備事業では、都市機能が集積する市街地での街路整備、市街地の交通量緩和と交通安全対策向上のためのバイパス整備、市内の各地域を結ぶ道路網の整備などを実施しています。さらに、都市基盤の基礎となる地籍調査の実施や上下水道の整備、冬期間においても機械除雪と消雪施設による生活環境の確保に努めています。



地籍調査の様子

### 地籍調査・測量



下水道整備の様子  
(整備が完了した地区より順次供用開始中)

### 上下水道の整備

環境衛生への関心が高まる中で、公園や緑地の整備・維持をはじめ、市民の共有財産である豊かな自然環境の保全にも努めています。市民が安心して暮らせ、雪国ならではの歴史と文化を生かしたまちを構築し、観光客と交流人口の増加や、地元物産品の価値向上につながるまちづくりをめざしています。

## 雪に強いまちづくり



除雪車による道路除雪作業



地下水を利用した消雪パイプ

## 道路の整備・改良・維持



国道17号六日町バイパス  
(全長5.1km、現在1.3kmが暫定2車線供用中。赤破線部分は、計画・工事中)

### Urban Foundation

#### A city with Safe, Comfortable and Pleasant Living

In order to improve and enhance the lives of our residents and the regional economy, development of a comfortable living environment is required. Road improvement and construction projects, such as street maintenance in urban areas, bypass and road network that connect each area of the city, etc., are carried out. Moreover, work on cadastral survey, water and sewerage service, and equipment snow removal and snow melting facilities in winter are carried out to ensure a comfortable living environment. In addition to the maintenance and preservation of parks and green spaces, we also seek to protect the bounteous natural environment as a shared asset of all the residents.

産業振興

豊かな自然を活かし、自然や人にやさしく力強い産業のまち



道の駅 南魚沼  
**雪あかり**

道の駅南魚沼は、今泉記念館、四季味わい館、憩いの広場の3つの施設で構成され、平成24年7月1日に観光交流を目的とした施設としてオープンしました。機能性と利便性を向上させるために、平成25年10月、ゆきあかり診療所を新たに開設しました。

Promotion of Industry

A city with strong industries that use the bounty of nature and that are gentle on nature and people

As a facility to promote tourism exchange, "Michi No Eki (roadside station) Minamiuonuma" was opened on July 1, 2012. To further widen the range of exchange beyond just ski-related tourism, city development is promoted by featuring foods focusing on Minamiuonuma's Koshihikari rice, green tourism, mountain tourism, cultural facilities, traditional crafts and creating industry as tourism resource, with the aim attracting customers continuously throughout the year.

Through industry-academic-government cooperation, we hope to create industries which provide new income and employment to the area, and encourage the appearance of many business entrepreneurs. To encourage construction of wooden houses for permanent residence, renewable resource recycling through forest maintenance and activation of forestry and lumber industries, use of local materials can be increased by subsidizing purchasing costs for houses built from Minamiuonuma Japanese cedar.



交流人口の拡大に向けて

観光客の多様なニーズに対応し、交流人口を拡大していくためには、これまでのスキー観光による集客に加えて、より幅広い施策が必要です。

南魚沼産コシヒカリを中心とした食によるまちおこし、豊かな自然を生かしたグリーン・ツーリズムや山岳観光、文化施設や伝統工芸、産業の観光資源化を進め、それらを効果的に結び付け、PRすることで、年間を通じた継続的な集客をめざします。



八海山の紅葉



農業体験(グリーン・ツーリズム)



カタクリの群生(坂戸山 桃の木平)



三国街道 塩沢宿「牧之通り」



八色の森市民まつり



八色しいたけ試食会(ICLOVE事業)

地域に新たなビジネスチャンス

経済状況が短期間で大きく変動する現代は、常に時代が求める需要の調査研究や、潜在する地域ニーズの掘り起こしなどを行ない、ビジネスに結び付けていく必要があります。

地域内に新たな所得・雇用を生み出す産業を創出し、多くの企業家の輩出をめざします。

産学官連携とし、国際大学と連携して市内企業・事業所をサポートするプログラム「ICLOVE(アイクラブ)」を立ち上げ、海外進出を始め、販路や市場開拓を支援します。



木づかいライフ

「家づくり・エコ暖房」

南魚沼産の杉を使用して建築する住宅に対し、購入額の一部を補助することで、地域材の利用拡大を促進します。定住のための木造住宅建築の促進と、資源循環型の森林整備の促進、林業・木材産業の活性化を図ることを目的としています。

地球温暖化防止とバイオマスタウン構想の推進を図るため、ペレットストーブなどの設置に対して、補助金を交付しています。

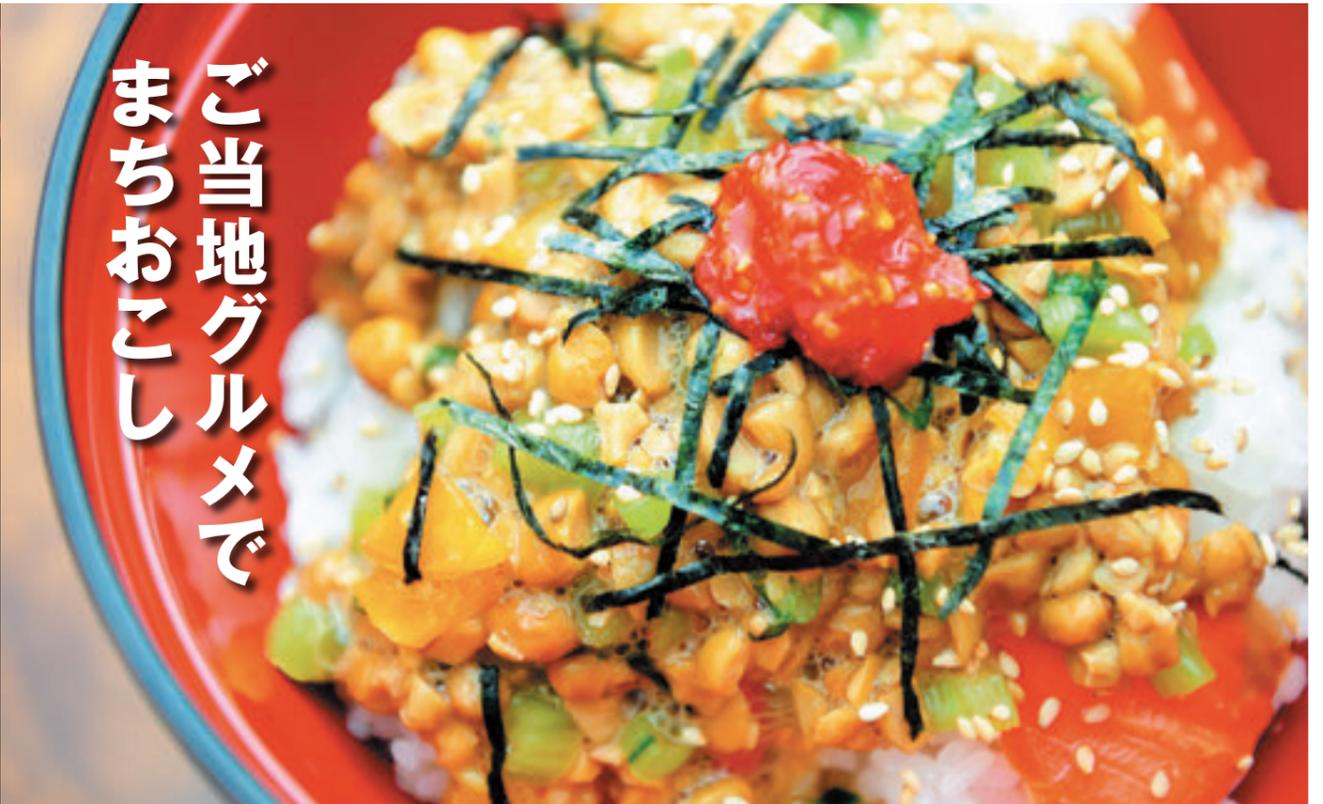


産業振興

豊かな自然を活かし、自然や人にやさしく力強い産業のまち



10月10日は  
「南魚沼市コシヒカリの日」



ご当地グルメで  
まちおこし



「南魚沼市コシヒカリの日」  
制定記念イベント（めぐみ野保育園にて）

子どもたちも笑顔でいっぱい！  
日本一の南魚沼産コシヒカリの新米で、

南魚沼産コシヒカリのさらなる普及促進をめざし、平成25年9月南魚沼市議会定例会において、議員発議で条例が制定されました。普及促進に向けた取組みを市民、関係事業者と市が一体となって推進することで、市の宝であるブランド米「南魚沼産コシヒカリ」の高品质の保持と消費拡大を図っていきます。

「きりざい」とは、南魚沼地域に古くから伝わる伝統料理で、余った野菜やたくわんなどの漬物を細かく刻んで、納豆と混ぜ合わせたものです。納豆は良質なタンパク源で、昔は貴重な保存食でした。深い雪で閉ざされた冬の間、納豆を大切に食べ続けるために、漬物を加えて量を増やした「おばあちゃんの知恵」から生まれたものが「きりざい」です。現在も小・中学校の給食や各家庭の食卓に出る、地元ではなじみのあるメニューです。

「南魚沼きりざい丼」は、「きりざい」と地元にある縁のある鮭や神楽南蛮を加え、「南魚沼産コシヒカリ」の上のせて食べるご当地グルメです。現在は市内20店舗の飲食店と宿泊施設で食べることができます。



きりざいでまちおこし  
南魚沼きりざいDE愛隊  
www.kirizaidon.com

平成23年に郷土料理「きりざい」をベースにした、ご当地グルメ「南魚沼きりざい丼」を通じて、南魚沼市を全国にPRする団体「南魚沼きりざいDE愛隊」が、市内の有志ボランティアにより誕生しました。おもな活動は、市内や県内外のまちおこしイベントへの出展や小学校での講演、農業者と連携した南魚沼産コシヒカリの田植えや稲刈りを、地元の人たちが学生と行っています。

平成25年には、愛Bリーグ（一般社団法人）ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会で、新潟県初の本部加盟団体となりました。

これからも全力で南魚沼市を全国にPRし、一人でも多くの人から市を訪れていただけるように、「まちおこし」活動に取り組んでいきます。



もみがらを燃料にした「ぬか釜」



南魚沼産コシヒカリ新米昼食会



らいすぬーぼー in 浅草



グルメマラソン

Promotion of Industry

A city with strong industries that use the bounty of nature and that are gentle on nature and people

City development by local gourmet food

In 2011, the Minamiuonuma Kirizai DE Aitai organization was established to advertise Minamiuonuma City to other prefectures through "Minamiuonuma Kirizai-Don". This organization is actively involved in "city development" activities to encourage many people to visit the city.

October 10 Koshihikari Rice Day

For further promotion of Minamiuonuma Koshihikari rice, a special regulation was established according to a congressional proposal at Minamiuonuma City regular local assembly held in September 2013. This regulation promotes various approaches for the spread and promotion of Minamiuonuma Koshihikari rice by the cooperation between residents, related companies and the city.



2013年、全国大会のB-1グランプリ in 豊川に初出展



地域の人と稲刈り交流



2013 関東・甲信越B-1グランプリ in 勝浦で  
ブロンズグランプリ(総合3位)を獲得

南魚沼市が誕生してから10年が経過しました。この間に多くの行政課題に取り組み、市の基礎を築き、新たなまちづくりを進めてきました。

時代とともに新たな課題も生じ、市民ニーズも多様化してくる。ことから、今後は、これまで以上に迅速、かつ的確に対応することが求められます。

市民主体のまちづくりを進めるために、市政のあらゆる場面で、市民の声を反映させていく仕組みが大切です。自治意識の高揚を図るとともに、行政参加の機会を広げることで、一人ひとりが主体となった、安全で安心なまちづくりを進めることができます。

そのためには、市民と行政、民間企業、学校などが、それぞれの分野で協働することが重要です。各分野の連携を進め、機能強化を図ることが、将来の大きな財産につながります。

これからも南魚沼市は、「市民と築くあかるい自治のまち」を推進していきます。



市政懇談会による市民との対話



総合防災訓練



男女共同参画の取組み



姉妹都市交流 ニュージーランド国 アシュバトン訪問団

～ 明るい自治のまちをめざして ～

- 行財政運営の効率化
- 市民主体のまちづくり
- 災害に強い安全と安心のまちづくり
- 高度情報化の推進
- 交流の推進

若者まちづくり会議の開催

若い人たちの意見・提案を市政に反映させる機会を増やそうと始めた取組みです。初年度の平成25年度は「人口減少と将来の南魚沼市」をテーマに、南魚沼市の理想像を話し合いました。若い人の視点でアイデアを出し合い、南魚沼市の未来を考えていきます。



南魚沼市議会



本庁舎



大和庁舎



塩沢庁舎

Citizen participation・Administrative and fiscal reforms  
A clean city established by cooperation between the administration and the residents

10 years have passed since the establishment of Minamiuonuma City. We have constructed a city foundation and moved forward with new city development. Along with changes with the times, new challenges have arisen, and a prompt and accurate response is needed to meet the diversified needs of the residents.

To promote city development for whole citizens, a structure that reflects the opinions of the residents is needed in various aspects of the municipal government. In order to accomplish this, cooperation between each sector- residents, the government, private companies, and schools is essential. Promoting coordination between each sector and working to strengthen their function will lead to valuable assets in the future. Minamiuonuma City will continue to promote a "bright city of self-government constructed with the residents."



